

栃木県がん検診実施状況報告書

(概 要 版)

平成 31 (2019) 年 3 月

栃木県保健福祉部健康増進課

I 調査の概要

1 調査の目的

本調査は、市町及び検診実施機関で行われたがん検診の実施状況や精度管理の状況を把握・評価することを目的に、健康増進法（平成14年法律第103号）第19条の2に基づく健康増進事業として市町が実施したがん検診の実施状況を調査したものである。

2 調査内容

(1) がん検診の実施体制

直近のがん検診の実施体制について調査した。（平成30(2018)年9月末日時点）

(2) 平成29(2017)年度がん検診（スクリーニング）の結果

平成29(2017)年度がん検診（スクリーニング）の実施状況について調査した。平成30(2018)年9月末日時点）

(3) 平成28(2016)年度がん検診（精密検査）の結果

平成28(2016)年度がん検診受診者のうち要精密検査であった者の精密検査（以下「精検」という。）の結果について調査した。（平成30(2018)年9月末日時点）

※ 主な変更点（国の地域保健・健康増進事業報告に準拠）

ア 原発性のがんは「〇〇がんであった者（転移性を含まない）」、転移性のがんは「〇〇がん以外の疾患（転移性の〇〇がんを含む）」として計上することとしたこと。

イ 胃がん及び大腸がんは「粘膜内がん」を、乳がんは「非浸潤がん」を新たに把握することとしたこと。

ウ 精検結果未把握者は精検受診者に含めないこととしたこと。（P3参照）

3 集計方法

市町からの報告（宇都宮市を除く）を広域健康福祉センターで1次集計し、宇都宮市及び広域健康福祉センターの集計分を栃木県健康増進課で2次集計した。

4 対象者数の算出について

(1) がん検診対象者数（別表参照）については、「今後の我が国におけるがん検診事業評価の在り方について」（平成20年3月 がん検診事業の評価に関する委員会）及び「市町村がん検診事業の充実強化について」（平成21年3月18日付け健総発第0318001号 厚生労働省健康局総務課長通知）に示された以下の算出方法を用いた。

市町村事業におけるがん検診対象者数＝市町村人口－就労者数＋農林水産従事者
* 「市町村人口」等は、平成27年度国勢調査報告書（総務省統計局）の40歳以上（胃がんは50歳以上、子宮頸がんは20歳以上）
* 男女ごとに算出

(2) 各比率の算出に当たっては、原則、算出対象年度ごとに、「がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針について」（平成20年3月31日付け健発第0331058号 厚生労働省健康局長通知）による各がん検診の対象年齢及び検査項目を受診している者を対象とした。

5 この調査に用いる主な比率及び用語の解説

(1) 受診率：がん検診対象者のうち、実際に検診を受けた者の割合

【計算式】

受診率(%)＝受診者数÷検診対象者数×100 ※図 ②÷①×100

※ ただし、胃がん、乳がん、子宮頸がんは、次の算出方法による。

受診率(%)＝(前年度の受診者数＋当該年度の受診者数－前年度及び当該年度における2年連続受診者数)÷当該年度の対象者数×100

(解説)

・受診率は高いことが望ましい。

(2) 要精検率：がん検診受診者のうち、診断結果が「精検が必要」とされた者（要精検者）の割合

【計算式】

$$\text{要精検率(\%)} = \text{要精検者数} \div \text{検診受診者数} \times 100 \quad \text{※図 ③} \div \text{②} \times 100$$

(解説)

- ・検診受診者の中でその疾患にかかっている者が多い場合には、一般に要精検率が高くなる。
- ・検診において、過度に要精検率が高い場合には、精検が必要でない者が「要精検」と判断されている可能性があり、逆に過度に要精検率が低い場合には、精検が必要な者が精検不要と判断されている可能性がある。

(3) 精検受診率：要精検者のうち、精検を受けた者の割合

【計算式】

$$\text{精検受診率(\%)} = \text{精検受診者数} \div \text{要精検者数} \times 100 \quad \text{※図 ④} \div \text{③} \times 100$$

(解説)

- ・精検受診率は高いことが望ましい。
- ・精検を受けなかった者（精検未受診者）が多い場合や、精検の結果が把握されていない者（精検結果未把握者）、精検を受診したか否かが把握できていない者（精検受診未把握者）が多い場合、精検受診率が低くなる。
- ・精検受診率が低い場合、がん発見率や陽性反応適中度が低くなる。

(4) 陽性反応適中度：要精検者のうち、がんが発見された者の割合

【計算式】

$$\text{陽性反応適中度(\%)} = \text{がんであった者の数} \div \text{要精検者数} \times 100 \quad \text{※図 ⑤} \div \text{③} \times 100$$

(解説)

- ・陽性反応適中度は、高いことが望ましい。
- ・検診実施機関においてがんを適切に発見できない場合や、市町において精検結果が把握されていない場合は低くなる。

(5) がん発見率：がん検診受診者のうち、がんが発見された者の割合

【計算式】

$$\text{がん発見率(\%)} = \text{がんであった者の数} \div \text{検診受診者数} \times 100 \quad \text{※図 ⑤} \div \text{②} \times 100$$

(解説)

- ・がん発見率は高いことが望ましい。
- ・がん発見率は有病率が低い集団が受診している場合や精検結果が把握されていない場合は低く、有病率が高い集団が受診している場合は高くなる傾向がある。

(6) (精検) 未把握率：精検結果や精検を受診したか否かが把握できない者の割合

【計算式】

$$\text{未把握率(\%)} = (\text{精検受診者の精検結果未把握者数} + \text{精検受診未把握者数}) \div \text{要精検者数} \times 100 \quad \text{※図 } (\text{⑥} + \text{⑦}) \div \text{③} \times 100$$

(7) 精検未受診者率：要精検者が精検を受診しなかったことが判明している割合

【計算式】

$$\text{精検未受診者率(\%)} = \text{精検未受診者数} \div \text{要精検者数} \times 100 \quad \text{※図 ⑧} \div \text{③} \times 100$$

(8) 精検未受診・未把握率：要精検者で精検結果未把握者、精検受診未把握者、精検未受診者の割合

【計算式】

$$\text{精検未受診・未把握率(\%)} = (\text{精検結果未把握者数} + \text{精検受診未把握者数} + \text{精検未受診者数}) \div \text{要精検者数} \times 100 \quad \text{※図 } (\text{⑥} + \text{⑦} + \text{⑧}) \div \text{③} \times 100$$

※図

対象者①						
受診者②						未受診者
要精検者③						
精検受診者④			精検結果未 把握者⑥	精検受診未 把握者⑦	精検未受 診者⑧	
異常なし	がんであつ た者⑤	がん以外の 疾患であつ た者				

(国の指針により推奨されるがん検診)

厚生労働省においては、「がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針」(平成 20 年 3 月 31 日付け健発第 0331058 号厚生労働省健康局長通知別添)を定め、市町村による科学的根拠に基づくがん検診を推進。

【指針で定めるがん検診の内容】

種 類	検査項目	対象者	受診間隔
胃がん検診	問診に加え、胃部エックス線検査又は胃内視鏡検査のいずれか	50 歳以上 ※当分の間、胃部エックス線検査については 40 歳以上に対し実施可	2 年に 1 回 ※当分の間、胃部エックス線検査については年 1 回実施可
肺がん検診	質問 (問診)、胸部エックス線検査及び喀痰細胞診	40 歳以上	年 1 回
大腸がん検診	問診及び便潜血検査	40 歳以上	年 1 回
子宮頸がん検診	問診、視診、子宮頸部の細胞診及び内診	20 歳以上	2 年に 1 回
乳がん検診	問診及び乳房エックス線検査 (マンモグラフィ) ※視診、触診は推奨しない	40 歳以上	2 年に 1 回

※統計表の符号は次のとおり。

調査対象外または該当なしの場合は「-」と表記。

※特に表記のない場合は、国の指針による検診方式及び対象者 (年齢) により集計している。

(別表)

平成 29(2017)年度がん検診対象者数

市町	胃がん (50歳以上)			肺・大腸がん (40歳以上)			子宮頸がん (20歳以上)	乳がん (40歳以上)
	男性	女性	計	男性	女性	計	女性	女性
宇都宮市	49,004	77,937	126,941	56,383	91,937	148,320	116,684	91,937
足利市	16,702	26,957	43,659	18,085	29,397	47,482	33,755	29,397
栃木市	18,709	28,918	47,627	20,108	31,927	52,035	37,195	31,927
佐野市	12,777	20,599	33,376	13,823	22,731	36,554	26,540	22,731
鹿沼市	10,668	16,731	27,399	11,586	18,487	30,073	21,590	18,487
日光市	10,187	15,790	25,977	10,897	16,984	27,881	19,040	16,984
小山市	15,855	24,741	40,596	17,731	28,505	46,236	35,638	28,505
真岡市	8,379	12,456	20,835	9,185	13,967	23,152	16,860	13,967
大田原市	8,941	12,427	21,368	10,134	13,645	23,779	16,737	13,645
矢板市	4,131	6,126	10,257	4,416	6,620	11,036	7,540	6,620
那須塩原市	11,863	17,579	29,442	13,042	19,761	32,803	23,743	19,761
さくら市	5,177	7,029	12,206	5,963	7,909	13,872	9,533	7,909
那須烏山市	3,897	5,612	9,509	4,150	5,978	10,128	6,614	5,978
下野市	5,793	9,018	14,811	6,205	10,213	16,418	12,558	10,213
上三川町	2,810	4,353	7,163	3,026	5,013	8,039	6,009	5,013
益子町	2,698	3,993	6,691	2,896	4,339	7,235	4,979	4,339
茂木町	2,073	2,978	5,051	2,169	3,112	5,281	3,354	3,112
市貝町	1,422	1,975	3,397	1,539	2,154	3,693	2,503	2,154
芳賀町	2,028	2,884	4,912	2,167	3,150	5,317	3,561	3,150
壬生町	4,306	6,547	10,853	4,655	7,194	11,849	8,634	7,194
野木町	2,920	4,490	7,410	3,102	4,902	8,004	5,795	4,902
塩谷町	1,585	2,388	3,973	1,676	2,526	4,202	2,772	2,526
高根沢町	2,942	4,566	7,508	3,219	5,160	8,379	6,288	5,160
那須町	3,849	5,345	9,194	4,167	5,694	9,861	6,257	5,694
那珂川町	2,644	3,581	6,225	2,783	3,795	6,578	4,182	3,795
計	211,360	325,020	536,380	233,107	365,100	598,207	438,361	365,100

Ⅱ がん検診の実施状況

1 がん検診の実施体制について

○県内全ての市町が、健康増進法に基づくがん検診を実施していた。

○胃がん、肺がん、大腸がん、乳がん検診において、国の指針で示す対象年齢を外れてがん検診を実施している市町があった。〈表 2-1〉及び〈表 2-2〉

第1 一次検診（スクリーニング）関係

（1）がん検診の委託の状況、実施機関等

〈表 1-1〉 集団検診機関別委託市町数（平成 29(2017)年度）

	宇都宮健康クリニック	宇都宮東病院	宇都宮市医療保健事業団	栃木県保健衛生事業団
胃がん	7	6	1	18
肺がん	7	6	1	18
大腸がん	7	6	1	18
子宮頸がん	7	6	1	18
乳がん	7	6	1	18

〈表 1-2〉 個別検診委託市町数（平成 29(2017)年度）

	胃がん	肺がん	大腸がん	子宮頸がん	乳がん
市町数	6	6	8	23	20

〈表 1-3〉 各市町におけるがん検診の実施期間、周知方法等（平成 29(2017)年度）

	開始 ～ 終了	広 報				個人通知		その他
		広報紙	市町HP	ラジオ	テレビ	持参	郵送	
宇都宮市	H29.5～H30.3	○	○	○	×	×	○	
足利市	H29.6～H30.2	○	○	×	○	×	○	
栃木市	H29.6～H30.2	○	○	×	×	×	○	
佐野市	H29.6～H30.2	○	○	×	○	×	○	
鹿沼市	H29.4～H30.2	○	○	×	×	×	○	がん検診推進事業で個別再勧奨を実施
日光市	H29.4～H30.3	○	○	×	×	×	○	乳幼児健診・子育て相談・高齢者健康教室・食育教室等での受診勧奨や健診PR、幼稚園・保育園・学童保育の保護者へ勧奨チラシを配布、回覧板での健診開催周知（一部地域のみ）
小山市	H29.5～H30.1	○	○	×	○	×	○	
真岡市	H29.4～H30.3	○	○	×	○	○	○	特定健診・がん検診日程表の全戸配布、国保だよりでの周知、9月がん検診強化月間でもかかりつけ医より受診勧奨リーフレットの配布
大田原市	H29.4～H29.12	○	○	×	×	○	○	
矢板市	H29.5～H30.2	○	○	×	×	○	○	子宮がん検診無料クーポン券の案内(21歳、6月、1回)、乳がん検診無料クーポン券の案内(41歳、7月、1回)
那須塩原市	H29.4～H30.3	○	○	×	×	×	○	
さくら市	H29.6～H29.12	○	○	×	×	×	○	
那須烏山市	H29.5～H29.12	○	○	×	×	×	○	前年度2月に行政区を通じて各家庭に日程表を配布
下野市	H29.6～H30.2	○	○	×	×	×	○	
上三川町	H29.7～H30.1	○	○	×	×	×	○	町民向けメール（かみたんメール）にて健診全般の受診勧奨
益子町	H29.5～H30.1	○	○	×	×	×	○	防災無線、フェイスブックで受診勧奨
茂木町	H29.5～H29.12	○	○	×	○	×	○	
市貝町	H29.5～H29.12	○	○	×	×	×	○	
芳賀町	H29.6～H30.1	○	○	×	○	×	○	
壬生町	H29.5～H29.11	○	○	×	○	×	○	
野木町	H29.6～H30.1	○	○	×	×	×	○	
塩谷町	H29.5～H29.12	○	○	×	×	×	○	
高根沢町	H29.6～H30.1	○	○	×	×	×	○	
那須町	H29.5～H30.2	○	○	×	×	×	○	
那珂川町	H29.6～H29.12	○	○	×	×	×	○	
計(市町数)		25	25	1	7	3	25	

○全市町で広報紙、ホームページ及び個別通知（郵送）による周知を実施している。

(2) がん検診の対象者、検査方法等

〈表 2-1〉 国の指針で示す対象年齢を外れてがん検診を実施している市町数 (平成 30(2018)年度)

		胃がん	肺がん	大腸がん	子宮頸がん	乳がん
栃木県 (割合)	平成 28(2016)年度 (n=25)	10 (40.0%)	6 (24.0%)	6 (24.0%)	0 (0.0%)	25 (100%)
	平成 29(2017)年度 (n=25)	10 (40.0%)	6 (24.0%)	6 (24.0%)	0 (0.0%)	25 (100%)
全国 (割合)	平成 28(2016)年度 (n=1737)	760 (43.8%)	349 (20.1%)	429 (24.7%)	59 (3.4%)	672 (38.7%)

〈表 2-2〉 各市町における対象年齢の状況 (平成 30(2018)年度・全方式)

区分	胃がん	肺がん	大腸がん	子宮頸がん	乳がん
国指針	50歳以上 (胃部 エックス線検査は 40歳以上の者も 可)	40歳以上	40歳以上	20歳以上	40歳以上
宇都宮市					30歳以上
足利市					30歳以上
栃木市					30歳以上
佐野市					30歳以上
鹿沼市					30歳以上
日光市					30歳以上
小山市	35歳のみ	35歳のみ	35歳のみ		30歳以上
真岡市					30歳以上
大田原市	20歳のみ	男性のみ35歳以上			30歳以上
矢板市					30歳以上
那須塩原市					30歳以上
さくら市	30歳以上	30歳以上	30歳以上		30歳以上
那須烏山市					30歳以上
下野市					35歳以上
上三川町	20歳以上	20歳以上	20歳以上		30歳以上
益子町	30歳以上				30歳以上
茂木町	19歳以上				30歳以上
市貝町					30歳以上
芳賀町	19歳以上				30歳以上
壬生町					30歳以上
野木町	30歳以上	30歳以上	30歳以上		30歳以上
塩谷町	30歳以上		30歳以上		35歳以上
高根沢町					30歳以上
那須町					30歳以上
那珂川町	20歳以上	20歳以上	20歳以上		20歳以上
計	10	6	6	0	25

○乳がん検診は全市町において対象年齢を引き下げて実施している。

○子宮頸がん検診の対象年齢を引き下げて実施している市町はない。

〈表 2-3〉 県内市町における各がん検診（指針方式）の実施状況（平成 30(2018)年度）

	検査方法	栃木県(n=25)
胃がん	胃部X線検査	25 市町
	胃内視鏡検査	3 市町(宇都宮市・下野市・上三川町) ※ うち 2市町(宇都宮市・上三川町)においては、受診者が個別検診の予約時に選択 ※ うち 1市(下野市)においては、特定の消化器疾患のある 40 歳以上の者に実施
肺がん	X線(+喀痰細胞診)	25 市町 ※ うち 3市町(鹿沼市・日光市・芳賀町)においては、CT検査を選択的に実施
大腸がん	便潜血	25 市町
子宮頸がん	視診・細胞診・内診	25 市町 ※うち 4市町(小山市、下野市、芳賀町、野木町)においては、HPV検査を併用して実施 ※うち 9市町(足利市、佐野市、大田原市、那須塩原市、さくら市、那須烏山市、茂木町、高根沢町、那須町)においては、一部年齢の者にHPV検査を併用して実施 ※ うち 11 市(足利市、栃木市、佐野市、鹿沼市、日光市、矢板市、那須塩原市、那須烏山市、塩谷町、那須町、那珂川町)においては、細胞診判定に応じHPV検査を追加実施
乳がん	マンモグラフィ	25 市町 ※ 全ての市町において、マンモグラフィと超音波検査又は視触診を併用して実施

〈表 2-4〉各市町におけるがん検診の自己負担及び土日祝日・早朝・夜間の実施状況（平成 30(2018)年度）

- ・ 個人負担の有無（A：なし、B：検査によっては個人負担あり、C：個人負担あり、空欄：未実施）
- ・ 個人負担が総費用の 3 割以内（○：全ての検査に該当、△：検査によっては該当、×：全ての検査が非該当）
- ・ 日時（○→実施、×→未実施）

	集団検診										個別検診										日時		
	胃		肺		大腸		子宮頸		乳		胃		肺		大腸		子宮頸		乳		土日祝日	夜間	早朝
	個人負担	3割以内	個人負担	3割以内	個人負担	3割以内	個人負担	3割以内	個人負担	3割以内	個人負担	3割以内	個人負担	3割以内	個人負担	3割以内	個人負担	3割以内	個人負担	3割以内			
宇都宮市	C	○	C	○	C	○	C	○	C	○	C	○	C	○	C	○	C	○	C	○	○	×	○
足利市	C	○	C	○	C	○	C	○	C	○	C	○	C	○	C	○	C	○	C	○	○	×	○
栃木市	C	○	C	○	C	○	C	○	C	○							C	○	A		○	×	×
佐野市	C	○	C	○	C	○	B	○	C	○			C	○	C	○	B	○	C	○	○	×	○
鹿沼市	B	△	B	△	A		C	○	C	○							C	○	A		○	×	○
日光市	C	○	C	△	C	○	C	○	C	○	C	○					C	○	C	○	○	○	○
小山市	C	○	C	○	C	○	C	○	C	○							C	○	C	○	○	○	×
真岡市	C	○	C	○	C	○	C	○	C	○							C	○	C	○	○	×	×
大田原市	A		A		A		A		A								C	○	C	○	○	×	○
矢板市	C	○	C	○	C	○	C	○	C	△							C	○	A		○	×	×
那須塩原市	C	○	C	○	C	○	C	○	C	○	C	○			C	○	C	○	C	○	○	×	○
さくら市	B	△	A		C	○	C	○	C	○							C	○	A		○	×	○
那須烏山市	C	○	C	○	C	○	C	○	C	○							C	○	C	○	○	○	×
下野市	B	○	A		A		C	○	A		A		A		A		C	○	A		○	×	×
上三川町	C	○	C	○	C	○	C	○	C	○	C	○	C	○	C	○	C	○			○	×	×
益子町	C	○	C	○	C	○	C	○	C	○											○	×	×
茂木町	B	△	A		A		C	○	C	○							C	○			○	×	×
市貝町	B	○	A		A		A		A												○	×	×
芳賀町	C	○	B	○	C	○	C	○	C	○	C	×	C	×	C	×	C	×	C	×	○	×	×
壬生町	C	○	C	○	C	○	C	○	C	○							C	×			○	×	×
野木町	C	○	C	○	C	○	C	○	C	○	C	○			C	○	C	○	C	○	○	×	×
塩谷町	C	○	A		C	○	C	○	C	○							C	○	A		○	×	×
高根沢町	C	○	C	○	C	○	C	○	C	○							C	○	A		○	×	×
那須町	C	○	C	○	C	○	C	○	C	○							C	○	C	○	○	×	×
那珂川町	C	○	C	○	C	○	C	○	C	○							A		A		○	×	○

○全市町において、土日祝日に検診が実施されている。

(3) 各がん検診の同時実施回数等 (平成 30(2018)年度)

【男性】(※種類については、胃がん、肺がん、大腸がんの3種類)

	1種類の検診のみ (機関)		2種類の検診 同時実施 (機関)		3種類の検診 同時実施 (機関)		計		特定健診との 同時実施 (機関)	
	集団 (回)	個別 (機関)	集団 (回)	個別 (機関)	集団 (回)	個別 (機関)	集団 (回)	個別 (機関)	集団 (回)	個別 (機関)
宇都宮市					330		330		330	
足利市		31	20	18	9	8	29	57	17	58
栃木市					70		70		70	
佐野市					96		96		96	
鹿沼市	2				60		62		25	
日光市	2		2		84		88		86	
小山市			2		57		59		59	
真岡市					75		75		75	
大田原市					67		67		67	
矢板市	3				37		40		37	
那須塩原市		36			70		70	36	70	
さくら市					27		27		27	
那須烏山市					25		25		25	
下野市				2	38	21	38	23	38	22
上三川町				3	22	9	22	12	22	12
益子町					28		28		28	
茂木町	4				18		22		18	
市貝町					18		18		18	
芳賀町					18	1	18	1	18	
壬生町					20		20		20	
野木町		6		1	22		22	7	22	4
塩谷町		5			14		14	5	14	
高根沢町					20		20		20	
那須町					41		41		41	
那珂川町					15		15		15	
計 (市町数)	4	4	3	4	25	4	25	7	25	4

○全市町の集団検診において、3種類の検診が同時に実施されている。

○全市町において、集団検診と特定健診が同時に実施されている。

【女性】（※種類については、胃がん、肺がん、大腸がん、子宮頸がん、乳がんの5種類）

	1種類の検診のみ（機関）		2種類の検診同時実施（機関）		3種類の検診同時実施（機関）		4種類の検診同時実施（機関）		5種類の検診同時実施（機関）		計		特定健診との同時実施（機関）	
	集団（回）	個別（機関）	集団（回）	個別（機関）	集団（回）	個別（機関）	集団（回）	個別（機関）	集団（回）	個別（機関）	集団（回）	個別（機関）	集団（回）	個別（機関）
宇都宮市	97		189		330		3		92		711		330	
足利市		29	30	15	8	13		5	27	1	65	63	35	60
栃木市					1		2		96		99		97	
佐野市					26		17		89		132		127	
鹿沼市	2								55		57		25	
日光市	2	5	2						84		88	5	86	2
小山市		20	10	2	52		2		49		113	22	105	15
真岡市		14	32	1	75						107	15	75	
大田原市		7		2					81		81	9	81	2
矢板市		5		2	19				21		40	7	37	
那須塩原市		40	6			2			106		112	42	106	30
さくら市									27		27		27	
那須烏山市		8			18		1		10		29	8	28	
下野市				2		21			38	2	38	25	38	22
上三川町		27		3		9			28		28	39	28	12
益子町			3						28		31		28	
茂木町	4						7		11		22		18	
市貝町									18		18		18	
芳賀町		1							19	1	19	2	18	
壬生町		2							28		28	2	28	
野木町		15		1	1				23		24	16	23	4
塩谷町		12	7		14						21	12	14	
高根沢町		7		2					20		20	9	20	
那須町		4		2	1		40				41	6	40	
那珂川町					15				13		28		26	
計（市町数）	4	15	8	10	12	4	7	1	22	3	25	16	25	8

○22市町の集団検診において、5種類の検診が同時に実施されている。

○全市町において、集団検診と特定健診が同時に実施されている。

(4) がん検診を受診しやすいよう工夫している点 (平成 30(2018)年度)

〈表 4-1〉各市町において工夫している点

宇都宮市	子宮・乳がん検診日に特定健診も実施できる検診日の設置
足利市	イベント等でのチラシの配布
栃木市	早朝(受付時間7:30~10:30)検診の実施 土日の検診日、女性のみの検診日、女性のみの午後の検診日、男性のみの検診日を設定
佐野市	受診券を一冊にまとめた「検診スタートブック」を対象者に配布 早朝検診の実施、保健センター3カ所以外に、地区公民館や支所での実施、3病院で集団検診の実施 土日祝の検診日、女性のみの検診日を設定
鹿沼市	早朝検診を4回、土日の検診を31回、レディース検診・託児つき検診を3回、特定健診の同時実施を25回実施 歯科検診や骨粗しょう症検診、40歳未満の検診との同時実施
日光市	女性のみの検診日を19日間、託児ができる検診日を26日間設定、検診会場数を多く設定
小山市	土日、午後、夜間での検診日の設定 女性のみの検診日を年2日設定
真岡市	女性のみの検診で定員が多い日は受付時間を従来より延長し対応
大田原市	Web予約の導入 土日、女性のみの検診日の設定
矢板市	託児ができる検診日、土日の検診日の設定 申し込み状況を市ホームページに掲載
那須塩原市	早朝及び日曜日検診を実施、女性だけの検診日を設定 各地区の公民館での検診の実施 歯科衛生士によるお口の相談コーナー、食生活改善推進員による減塩普及コーナーを設置
さくら市	全ての項目を同日受診可能 がん検診の無料化 早朝検診の実施
那須烏山市	特定健診と同時実施 女性のみの検診日を4日設定、土日の検診日を3日設定、夜間の婦人検診の実施
下野市	土日検診、託児ができる検診の実施 追加検診の実施を検討
上三川町	「健康診査のご案内」を作成し、対象の全世帯に送付 集団検診を町内4会場で実施(中心部:1会場、北東部1会場、西部1会場、南西部1会場)
益子町	ヤングミニ検診の受け入れ回数を3日間から17日間に拡大
茂木町	土曜日に全地区対象の検診日を2日間設定
市貝町	人間ドックを受けず、集団検診の申込みがなかった国保の方に受診勧奨の連絡
芳賀町	土日、女性のみの検診日の設定 Web予約の導入
壬生町	女性のみの検診日の設置、託児ができる検診の実施 町内5施設にて検診実施
野木町	Web予約の導入
塩谷町	検診の申込みから検診通知まで郵送でのやり取りによる簡素化 婦人科検診の最終日を追加検診とし、未受診者には再度通知
高根沢町	女性のみ、男性のみ、日曜検診の実施
那須町	総合検診日を多く設定、女性の日を設定(女性の日は託児を設ける)、7時30分からの「はやおき検診」を実施 子宮頸がん検診の30歳無料クーポンを配布
那珂川町	土日及び女性のみの「レディース検診」の実施 交通手段のない山間部地区は、近隣の施設を活用した検診の実施 希望者全員が受診できるように、がん検診全項目の検診日を設定

〈表 4-2〉 前年度と比較して工夫した点

宇都宮市	子宮・乳がん検診日に特定健診も実施できる検診日を設定
足利市	女性のがん集団検診は希望に応じ実施回数の増加
栃木市	人数枠や同時実施回数の増加
佐野市	特定健診の個人負担の減額 集団検診の人数枠の増加
鹿沼市	レディース検診を2回から3回に増加 テレビ番組の放映に合わせた乳がん検診の個別勧奨事業に参加
小山市	午後の検診日で受診できる項目の増加 女性のがん個別検診の実施期間を前年度1月末までだったものを、2月末まで延長
真岡市	協同組合に協力依頼し、組合員世帯へ検診日程表を配布
大田原市	個人ごとの申込書に変更
矢板市	女性のがん個別検診との同時実施の回数の増加
さくら市	毎年同じ時期に受診できるような日程を設定 検診日程表を見やすく工夫し、封筒にも必要事項を印字
那須烏山市	Web予約を本格的に開始 対象者全員への個別通知の実施
下野市	胃ハイリスク検査の個別検診実施
上三川町	がん検診無料クーポン券について、文字や表が見やすくなるよう改良 再勧奨はがきについて、受診を促すための文章や構図の改良 町民向けにメールでの勧奨
益子町	とくナビA Iにより受診勧奨の実施
茂木町	検診の意向調査票を郵便による提出に変更 書きやすいように○をつけるだけで回答できる調査票に変更
市貝町	人間ドックを受けず、集団検診の申し込みのなかった国保の方に受診勧奨の連絡
芳賀町	Webシステム導入 対象者全員への個別通知
壬生町	託児スタッフを増員し、託児検診の受け入れ人数を増加
野木町	はがきサイズの案内からA4サイズの案内にサイズを拡大 開催日数の追加 受診勧奨の案内の送付
塩谷町	今年度より、検診料金を1項目500円へと変更
高根沢町	節目年齢での検診料金の無料化
那須町	テレビ番組の放映に合わせた乳がん検診の個別勧奨
那珂川町	9月初旬に、6～8月の検診に申込みをしたが未受診の方に個別勧奨はがきを通知

(5) 個別受診勧奨と再勧奨の実施状況（平成30(2018)年度）

〈表 5-1〉 個別受診勧奨の実施状況

	対象者			実施時期	実施方法		
	全員	無料クーポン配布者	対象者を絞って		電話	郵送	訪問
宇都宮市	○			4月末		○	
足利市			○	6月		○	
栃木市	○			5月下旬		○	
佐野市	○			5月末		○	
鹿沼市	○			4月		○	
日光市	○			平成29(2017)年12月		○	
小山市			○	4月初め		○	
真岡市			○	4月		○	
大田原市		○		6月		○	
矢板市			○	6月、9月		○	
那須塩原市	○			平成30(2018)年1月		○	
さくら市		○		4月～12月		○	
那須烏山市	○			3月		○	
下野市	○			10月		○	
上三川町	○			4月下旬、6月下旬		○	
益子町		○	○	4月～5月		○	
茂木町		○	○	8月、10月		○	
市貝町			○	10月		○	
芳賀町	○			5月		○	
壬生町			○	6月		○	
野木町	○			5月		○	
塩谷町		○		4月		○	
高根沢町		○	○	8月、10月		○	
那須町		○	○	8月下旬		○	
那珂川町		○	○	5月、6月、10月		○	
計 (市町数)	11	8	11		0	25	0

○11 市町において、全員に対して個別受診勧奨を実施している。

○8 市町において、無料クーポン配布者に対し個別受診勧奨を実施している。

○全市町において、郵送による個別受診勧奨を行っている。

〈表 5-2〉再勧奨の実施状況

	対象者			実 施					未 実 施	
	未受診 者全員	無料クーポン 配布者のうち 未受診者	対象者を 絞って	実施数・時期		実施方法				
				回数	時期	電 話	郵 送	訪 問		
宇都宮市			○	1	12月(がん検診(胃・乳・子宮頸)未受診者)		○			
足利市		○	○	1	11月		○			
栃木市		○		1	10月上旬		○			
佐野市		○		1	11月		○			
鹿沼市			○	5	5月～11月		○			
日光市			○	3	8月、10月、12月		○			
小山市			○	1	12月初め		○			
真岡市			○	7	6月、9月、10月、11月、1月		○			
大田原市			○	1	8月		○			
矢板市									○	
那須塩原市		○	○	3	9月(乳がん検診対象者)、(特定健診未受診者) 10月(クーポン対象未受診者)		○			
さくら市									○	
那須烏山市			○	1	8月		○			
下野市		○	○	1	10月		○			
上三川町		○		3	8月、11月(乳がん検診対象者) 10月(子宮頸がん対象者)		○			
益子町		○		2	8月、10月		○			
茂木町		○		2	8月、10月		○			
市貝町									○	
芳賀町									○	
壬生町			○	1	8～9月		○			
野木町		○	○	1	10月		○			
塩谷町		○		1	11月		○			
高根沢町		○	○	2	8月、10月		○			
那須町									○	
那珂川町			○	1	9月		○			
計 (市町数)	0	11	14	20			0	20	0	5

○20市町において、郵送による再勧奨を行っている。

第2 二次検診（精検）関係

（1）精検未把握者対策として、受診の有無や精検結果の正確な把握のために工夫している点

宇都宮市	集団検診の精検受診未把握者への個別通知（郵送）による受診状況の確認及び受診勧奨の実施 個別検診の精検受診未把握者への医療機関への通知（郵送）による受診状況の確認及び受診勧奨の実施
足利市	要精検者のうち、受診後3～4か月後も結果連絡票が医療機関から送付されない者に対して追跡調査を実施 検診結果が市に報告できるよう返信用封筒を入れて送付
佐野市	受診後6か月を目安に精検未把握者に対し、郵送にて計3回受診勧奨
日光市	未把握者への電話確認 市外の精検機関の結果報告経路の整備
小山市	未把握者に対して、検診受診から4か月後に勧奨文書を通知 その後も確認できない方には電話勧奨を実施
大田原市	状況に応じて電話による状況確認
矢板市	未把握者や精検機関への電話確認
那須烏山市	精検結果が正確に分からない者への電話確認
下野市	精検結果連絡票を使用して結果を市に連絡
上三川町	精検結果が戻ってこない対象者に対して、受診勧奨通知を送付 電話による受診勧奨の実施
益子町	検診受診から半年後、個別通知による精検未受診者の受診勧奨及び受診状況の把握
茂木町	未把握者への電話確認
市貝町	未把握者への電話確認及び郵送で結果連絡を勧奨
芳賀町	未把握者への電話確認
壬生町	未把握者の勧奨通知 また、受診していたにもかかわらず通知が送られた方は受診内容と結果を教えてもらえるよう通知に記載
野木町	複数回数の督促
塩谷町	未把握者については、6か月後に精検受診勧奨の通知を郵送
高根沢町	郵送及び電話等による未受診者への受診確認
那珂川町	精検連絡票から精検結果が把握できない場合は、本人や医療機関に連絡し、聞き取りを実施

(2) 二次検診（精検）未受診者勧奨の実施状況（平成 29(2017)年度）

	個人通知				
	持参	郵送	実施状況（持参、郵送） （勧奨時期・回数等）	電話	実施状況（電話） （勧奨時期・回数等）
宇都宮市	×	○	半期ごとに精検受診未把握者を抽出し、個別通知（郵送）による受診状況の確認及び受診勧奨の実施	×	
足利市	×	○	要精検者で受診後 3～4 か月を経過しても結果連絡票が医療機関から送付されない者に対して追跡調査を実施	×	
栃木市	×	○	一次検診の 6 か月後を目安に 1 回受診勧奨を実施	×	
佐野市	×	○	受診後 6 か月を目安に精検未把握者に対し郵送にて受診勧奨（平成 29(2017)年度 3 回実施）	×	
鹿沼市	×	○	半期ごと（10 月：前年度 10～3 月に実施した検診のうちの精検未受診者、3 月：当年度 4 月～9 月に実施した検診のうちの精検未受診者）	×	
日光市	×	○	結果返却後、3 か月を経過しても医療機関から連絡票の返信が無い方に対して実施	○	郵送勧奨後も医療機関からの連絡票の返信がない方に対して実施
小山市	×	○	勧奨時期：検診受診より 4 カ月後 回数：1 回	○	勧奨時期：個別通知から 2 か月後 回数：電話が繋がるまで
真岡市	×	○	がん検診受診 4 か月後と 6 か月後に封書による受診勧奨（大腸のみ 2 か月、4 か月、6 か月） 受診状況確認票の返信にて把握	×	
大田原市	×	○	検診受診月を除く 4 か月後、6 か月後の精検未受診者に郵送による受診勧奨 自記式記入によるアンケート	○	郵送による 2 回の受診勧奨後、返信や連絡がつかない方について状況に応じて電話による状況確認
矢板市	×	○	検診後 4 か月、6 か月後に未受診者に対して通知を送付	×	
那須塩原市	×	○	精検連絡票が届いていない人に対し、受診勧奨（11 月、1 月の 2 回）	×	
さくら市	×	○	年度内に 1 回、郵送にて受診勧奨	×	
那須烏山市	×	○	年 2 回勧奨（検診日より 4 か月、6 か月後に受診の有無を調査）	×	
下野市	×	○	検診実施 4 か月、6 か月後に 1 回郵送にて受診勧奨	○	検診実施 7 か月後に電話連絡
上三川町	○	○	集団検診結果説明会で精検受診の必要性を発信 精検結果が戻ってこない対象者に受診勧奨通知を送付	×	
益子町	○	○	検診結果説明会参加時対面にて説明実施	×	
茂木町	×	×		○	受診日より 6 か月後に、受診の有無、未受診者には受診勧奨を実施
市貝町	×	○	勧奨時期 12 月～1 月、勧奨回数 1 回	○	勧奨時期 2 月～3 月、勧奨回数 1 回
芳賀町	×	×		○	検診受診後概ね 6 か月後、各検診 1 回
壬生町	×	○	紹介状通知後、1～2 か月経過後も結果未把握の方に対して勧奨通知を送付	×	
野木町	×	○	受診結果が郵送されてから 4 か月後、本人宛に精検受診状況確認票の送付 さらに 2 か月後、未受診者へ確認票を再送付	×	
塩谷町	×	○	検診結果後、6 か月を目安に、精検結果が把握されていない方に、再度勧奨通知を送付	○	必要に応じて実施
高根沢町	×	○	状況確認の通知を 12 月、2 月に 2 回程度実施	○	状況確認として随時連絡
那須町	×	○	精検結果連絡票が届いていない方へ 9 月と 12 月に受診状況連絡票を送付	×	
那珂川町	×	○	検診結果郵送後、約 4 か月後に郵送にて受診勧奨を通知	○	郵送から約 1 か月後に受診が確認できなかった場合、個別連絡
計 (市町数)	2	23		10	

○23 市町において、郵送による受診勧奨を実施している。

○10 市町において、郵送による受診勧奨後の未受診者に対し、電話による勧奨を実施している。

(3) 二次検査（精検）を受診しやすいよう工夫している点（平成 29(2017)年度）

〈表 3-1〉各市町において工夫している点

宇都宮市	昨年度の個別検診の精検受診の未把握者にも個別通知（郵送）による受診状況の確認及び受診勧奨の実施
足利市	子宮頸がん検診の要精検者に対して受診勧奨を検討
栃木市	紹介状に精密検査登録医療機関一覧を添付 検診結果通知に、精密検査の必要性を説明したチラシを同封 精検未受診者への受診勧奨通知に返信期限を設定
佐野市	近隣のがん検診精密検査登録医療機関、精密検査の内容等について、受診勧奨チラシに記載
鹿沼市	受診勧奨通知に精密検査を受診することによる利益の説明文を掲載
日光市	医療機関の紹介や、結果説明会での受診の必要性の説明
小山市	子宮頸がん、乳がん検診については、市内に精密検査を実施できる医療機関が少ないため、近隣市町の医療機関まで掲載した添書を紹介状に同封し、郵送
真岡市	精検実施医療機関の情報提供 返信用封筒の同封 複数回の勧奨実施
大田原市	検診結果説明会で各がんの登録医療機関を紹介
矢板市	個別通知に、受診状況のアンケートと受診の必要性の説明文を掲載
那須塩原市	検診実施日を計 112 回、集団検診会場を市内 9 か所で 4 月～11 月、個別医療機関 44 か所で 4 月～3 月まで随時受診可能な体制を構築
さくら市	精密検査医療機関登録名簿を紹介状に同封
那須烏山市	個別に 2 回通知し、受診することの忘失を防止
下野市	精密検査受診医療機関一覧を添付
上三川町	集団検診の結果説明会の講話等において、精検受診の必要性を強調
益子町	医療機関の紹介 結果説明会時に受診の必要性について説明及び受診勧奨
茂木町	結果説明会で精検受診の有無を確認し必要性を説明
市貝町	個別に検査値を書き込んだ資料を郵送
芳賀町	結果送付時に精密検査受診を促す添書を同封
壬生町	受診科や病院がわかるように、紹介状に説明書を添付 早期発見・早期治療の大切さなどの説明書を同封
野木町	精密検査医療機関の案内も結果書の見方に追記
塩谷町	要精検者に対しては、面接にて結果の説明を実施 精検者には、専用封筒に結果を入れて対象者に配布
高根沢町	精密検査医療機関の案内等の実施
那珂川町	電話勧奨の際、本人より詳しい内容（受診時期や医療機関名）等の聞き取りを実施

〈表 3-2〉 前年度と比較して工夫した点

宇都宮市	昨年度の個別検診の精検受診の未把握者にも個別通知（郵送）による受診状況の確認及び受診勧奨の実施
足利市	子宮頸がん検診の要精検者に対して受診勧奨を検討
佐野市	わかりやすい受診勧奨チラシの作成
日光市	精検受診勧奨リーフレットを同封
真岡市	対象者のデータから勧奨方法の内容を検討して実施
那須塩原市	勧奨通知を封書ではなく、圧着はがきに変更。文面を工夫し、どう行動するかを文章化
下野市	受診勧奨用のパンフレットの文字を目立つように拡大
上三川町	集団検診の要精検者に対し、精密検査の受診を促す勧奨文を挿入
益子町	とくナビA I、ヤングミニ検診において継続受診にむけた個別通知、勧奨の実施
茂木町	結果説明会にて、精密検査項目についても説明の追加
野木町	複数回数の督促
塩谷町	未受診者に勧奨通知に黄色等の目立つ色の封筒を使用
高根沢町	受診状況確認の随時実施

2 平成29(2017)年度がん検診の受診率について

〈表1〉平成29(2017)年度がん検診受診率

(単位：%)

		胃がん	肺がん	大腸がん	子宮頸がん	乳がん (全方式)
栃木県	平成27(2015)年度	15.9	29.1	30.4	31.9	33.8
		22.1	33.6	37.3	46.0	53.5
	平成28(2016)年度	21.2	27.9	28.5	32.4	33.6
		31.5	33.5	35.9	49.5	55.9
	平成29(2017)年度	21.5	28.5	28.7	30.1	34.2
		30.3	32.5	34.5	45.5	55.9
全国	平成27(2015)年度	6.3	13.7	15.5	18.4	14.5
		6.3	11.2	13.8	23.3	20.0
	平成28(2016)年度	8.7	10.3	11.1	13.8	14.2
		8.6	7.7	8.8	16.4	18.2
	平成29(2017)年度	—	—	—	—	—
		—	—	—	—	—

出典：全国「地域保健・健康増進事業報告」(厚生労働省)

注1) 各年度の下段は、40歳から69歳まで(ただし、胃がん(平成28(2016)年度以降)は50歳から69歳まで、子宮頸がんは20歳から69歳まで)を対象

注2) 乳がんについて、栃木県は指針方式によらずに受診した者を含む全ての受診者を対象(全方式)、全国は指針方式で受診した者を対象

注3) 全国値の平成28(2016)年度以降のがん検診対象者は、各がん検診の対象年齢の「全住民」

注4) 全国値の受診率は、計数が不詳の市区町村を除いた値

(参考) 本県の乳がん検診(指針年齢かつ指針方式)での受診率について

「がん検診実施のための指針」に基づく平成29(2017)年度受診率・・・**31.0%**

〈表2〉男女別がん検診受診率

(単位：%)

栃木県	胃がん		肺がん		大腸がん		子宮頸がん	乳がん (全方式)
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	女性	女性
平成27(2015)年度	18.2	14.4	31.0	28.0	31.9	29.5	31.9	33.8
平成28(2016)年度	24.1	19.4	29.0	27.2	29.2	28.1	32.4	33.6
平成29(2017)年度	24.4	19.6	29.6	27.8	29.5	28.3	30.1	34.2

注) 乳がんは、指針方式によらずに受診した者を含む全ての受診者を対象

〈表 3〉平成 29(2017)年度年齢階級別がん検診受診率

(単位：%)

	胃がん	肺がん	大腸がん	子宮頸がん	乳がん(全方式)
20-24 歳				16.5	
25-29 歳				42.5	
30-34 歳				59.6	
35-39 歳				61.2	
40-44 歳		29.0	32.0	69.3	80.8
45-49 歳		31.8	35.3	68.9	79.3
50-54 歳	33.8	31.1	35.6	60.0	69.9
55-59 歳	32.1	31.9	36.3	46.8	58.7
60-64 歳	27.4	29.4	31.1	33.8	44.0
65-69 歳	30.6	36.6	36.5	29.8	41.1
70-74 歳	25.8	36.0	34.9	21.4	30.0
75-79 歳	19.8	30.3	29.3	12.1	17.9
80 歳以上	5.8	14.7	13.0	2.6	4.0

注 1) 乳がんは、指針方式によらずに受診した者を含む全ての受診者を対象

注 2) □：受診率が一番高い年齢階級

〈表 4〉平成 29(2017)年度市町別がん検診受診率

(単位：%)

胃がん	肺がん	大腸がん	子宮頸がん	乳がん(全方式)					
上三川町	38.2	上三川町	51.4	下野市	50.2	市貝町	51.8	日光市	73.1
市貝町	35.9	大田原市	48.4	大田原市	48.2	大田原市	50.7	市貝町	61.8
日光市	35.2	下野市	48.2	市貝町	46.1	上三川町	48.1	大田原市	60.7
茂木町	30.4	市貝町	46.7	上三川町	46.0	那須塩原市	44.3	上三川町	52.0
那須町	29.3	芳賀町	44.3	茂木町	45.0	矢板市	42.2	那須塩原市	48.9
大田原市	29.2	真岡市	42.5	真岡市	40.6	真岡市	40.4	芳賀町	47.5
真岡市	28.5	さくら市	37.6	益子町	38.3	塩谷町	37.3	下野市	45.8
那須塩原市	28.3	茂木町	36.5	芳賀町	38.2	那珂川町	36.4	さくら市	45.7
さくら市	26.4	日光市	36.3	那須塩原市	37.6	益子町	34.9	益子町	45.4
芳賀町	26.3	那須塩原市	36.2	日光市	37.1	日光市	33.2	那珂川町	45.2
宇都宮市	24.6	益子町	36.0	那珂川町	34.3	壬生町	31.5	矢板市	44.4
益子町	23.8	那珂川町	34.6	那須町	33.7	鹿沼市	29.5	真岡市	41.6
矢板市	23.4	那須町	34.0	さくら市	32.8	さくら市	29.0	壬生町	39.0
下野市	22.5	矢板市	32.5	矢板市	32.1	宇都宮市	28.6	野木町	39.0
那珂川町	22.5	宇都宮市	30.2	宇都宮市	27.5	茂木町	28.3	塩谷町	38.7
壬生町	21.6	壬生町	26.1	壬生町	27.2	那須町	28.1	茂木町	38.2
野木町	20.1	塩谷町	23.7	野木町	26.5	栃木市	28.1	那須町	35.3
塩谷町	19.2	佐野市	22.9	塩谷町	25.3	佐野市	26.7	小山市	35.2
小山市	16.4	栃木市	21.7	佐野市	22.7	足利市	25.4	高根沢町	33.2
高根沢町	16.2	那須烏山市	21.7	小山市	20.9	下野市	24.2	足利市	32.4
那須烏山市	15.6	高根沢町	21.3	高根沢町	20.6	高根沢町	19.5	鹿沼市	29.5
栃木市	15.3	小山市	19.9	栃木市	20.6	野木町	19.2	栃木市	27.5
鹿沼市	14.6	野木町	19.5	鹿沼市	19.9	小山市	18.8	佐野市	25.8
佐野市	12.4	足利市	11.7	那須烏山市	19.1	那須烏山市	18.8	那須烏山市	24.4
足利市	8.0	鹿沼市	10.6	足利市	17.6	芳賀町	17.2	宇都宮市	18.2

注) 乳がんは、指針方式によらずに受診した者を含む全ての受診者を対象

3 平成 29 (2017) 年度がん検診要精検の状況について

〈表 1〉平成 29(2017)年度がん検診要精検率

(単位：%)

		胃がん	肺がん	大腸がん	子宮頸がん	乳がん (全方式)
栃木県	平成 27(2015)年度	7.85	2.19	6.25	1.93	5.97
	平成 28(2016)年度	6.60	2.72	6.06	1.95	4.66
	平成 29(2017)年度	6.03	2.06	5.92	2.00	4.36
全国	平成 27(2015)年度	7.25	1.51	6.52	2.18	7.99
	平成 28(2016)年度	—	—	—	—	—
許容値		11.00 以下	3.00 以下	7.00 以下	1.40 以下	11.00 以下

出典：全国「地域保健・健康増進事業報告」(厚生労働省)、許容値「今後の我が国におけるがん検診評価の在り方について」(がん検診事業評価委員会報告書)

注 1) 全国値は 40 歳から 69 歳まで(ただし、胃がん(平成 28(2016)年度以降)は 50 歳から 69 歳まで、子宮頸がんは 20 歳から 69 歳まで)を対象

注 2) 乳がんについて、栃木県は指針方式によらずに受診した者を含む全ての受診者を対象(全方式)、全国は指針方式で受診した者を対象

注 3) 許容値：胃がん；胃 X 線、肺がん；胸部 X 線と喀痰細胞診の併用、大腸がん；便潜血検査、子宮頸がん；細胞診、乳がん；視触診とマンモグラフィの併用で行った検査で、74 歳までを対象

〈表 2〉年齢階級別要精検率

(単位：%)

	胃がん	肺がん	大腸がん	子宮頸がん	乳がん (全方式)
20-24 歳				4.81	
25-29 歳				3.98	
30-34 歳				3.98	4.02
35-39 歳				3.21	3.95
40-44 歳		0.56	4.10	2.74	7.57
45-49 歳		0.80	4.16	2.56	6.30
50-54 歳	4.01	0.99	4.05	1.63	5.25
55-59 歳	4.92	1.13	4.35	1.21	3.78
60-64 歳	6.01	1.54	4.53	0.91	3.63
65-69 歳	6.73	1.86	5.32	1.01	3.15
70-74 歳	6.57	2.22	6.34	0.78	3.00
75-79 歳	6.58	2.91	7.60	0.77	2.47
80 歳以上	4.35	3.81	9.79	0.69	3.11

注 1) 乳がんは、指針方式によらずに受診した者を含む全ての受診者を対象

注 2) □：要精検率が一番高い年齢階級

〈表 3〉 検診機関別要精検率

(単位：%)

検診機関	宇都宮健康 クリニック	宇都宮 東病院	宇都宮市 医療保健 事業団	栃木県保健 衛生事業団	医療機関 個別委託分	許容値
胃がん	4.06	2.32	8.01	8.47	2.36	11.00 以下
肺がん	0.99	1.82	2.31	1.60	3.71	3.00 以下
大腸がん	4.82	5.20	6.02	5.23	8.36	7.00 以下
子宮頸がん	1.77	0.66	0.65	2.84	1.53	1.40 以下
乳がん (全方式)	2.58	4.99	5.83	4.05	5.43	11.00 以下

注) 乳がんは、指針方式によらずに受診した者を含む全ての受診者を対象

〈表 4-1〉 平成 29(2017)年度市町別要精検率

(単位：%)

胃がん		肺がん		大腸がん		子宮頸がん		乳がん (全方式)	
壬生町	2.07	さくら市	0.84	益子町	4.26	高根沢町	0.49	益子町	2.68
市貝町	2.47	那須塩原市	1.11	さくら市	4.29	上三川町	0.55	さくら市	2.68
上三川町	2.50	益子町	1.19	市貝町	4.70	壬生町	0.60	那須町	3.06
高根沢町	2.58	大田原市	1.27	鹿沼市	4.73	市貝町	0.79	塩谷町	3.11
宇都宮市	3.71	芳賀町	1.36	上三川町	4.81	佐野市	0.90	下野市	3.39
さくら市	3.73	市貝町	1.39	茂木町	4.97	塩谷町	1.18	大田原市	3.47
那須町	4.20	栃木市	1.42	栃木市	5.15	宇都宮市	1.26	小山市	3.56
日光市	4.22	佐野市	1.44	小山市	5.25	日光市	1.32	那珂川町	3.58
佐野市	4.57	日光市	1.52	那須塩原市	5.26	那須町	1.65	那須塩原市	3.62
鹿沼市	5.36	真岡市	1.54	那珂川町	5.28	益子町	1.76	日光市	3.71
那須塩原市	6.32	小山市	1.54	大田原市	5.36	那須塩原市	1.92	足利市	3.81
下野市	7.29	那須烏山市	1.55	那須烏山市	5.37	那珂川町	2.01	栃木市	3.81
小山市	7.71	那珂川町	1.58	壬生町	5.41	那須烏山市	2.05	那須烏山市	3.92
那珂川町	7.80	茂木町	1.61	塩谷町	5.45	栃木市	2.11	野木町	3.95
真岡市	8.13	上三川町	1.62	高根沢町	5.56	真岡市	2.18	芳賀町	4.03
塩谷町	8.16	矢板市	1.64	真岡市	5.62	足利市	2.20	市貝町	4.11
矢板市	8.81	野木町	1.66	佐野市	5.65	さくら市	2.35	矢板市	4.22
芳賀町	8.96	那須町	1.82	芳賀町	5.66	矢板市	2.45	佐野市	4.82
益子町	9.24	高根沢町	1.85	野木町	5.81	鹿沼市	2.80	茂木町	4.95
栃木市	9.25	壬生町	1.88	那須町	5.86	大田原市	3.00	高根沢町	4.98
大田原市	9.42	塩谷町	1.91	足利市	5.90	茂木町	3.10	鹿沼市	5.01
茂木町	9.58	鹿沼市	2.06	日光市	5.90	小山市	4.98	壬生町	5.96
野木町	9.67	宇都宮市	2.67	矢板市	5.99	野木町	5.37	宇都宮市	6.05
那須烏山市	10.12	下野市	2.70	下野市	6.47	下野市	6.49	上三川町	6.25
足利市	11.15	足利市	8.57	宇都宮市	7.48	芳賀町	8.82	真岡市	8.76

注 1) 乳がんは、指針方式によらずに受診した者を含む全ての受診者を対象

注 2) □：許容値を超えるもの

〈表 4-2〉平成 29(2017)年度市町別要精検率（集団検診）

（単位：％）

胃がん		肺がん		大腸がん		子宮頸がん		乳がん（全方式）	
壬生町	2.07	佐野市	0.73	佐野市	4.25	上三川町	0.31	益子町	2.68
上三川町	2.33	さくら市	0.84	上三川町	4.25	壬生町	0.42	さくら市	2.68
市貝町	2.47	那須塩原市	1.11	益子町	4.26	高根沢町	0.54	佐野市	2.74
高根沢町	2.58	益子町	1.19	さくら市	4.29	市貝町	0.79	那須町	3.10
日光市	3.18	大田原市	1.27	野木町	4.36	宇都宮市	1.02	塩谷町	3.13
さくら市	3.73	芳賀町	1.36	市貝町	4.70	日光市	1.29	那須烏山市	3.17
那須町	4.20	市貝町	1.39	鹿沼市	4.73	塩谷町	1.42	足利市	3.39
佐野市	4.57	栃木市	1.42	下野市	4.88	佐野市	1.61	下野市	3.41
鹿沼市	5.36	下野市	1.44	茂木町	4.97	那須町	1.74	大田原市	3.44
那須塩原市	6.32	上三川町	1.49	足利市	5.08	益子町	1.76	小山市	3.51
下野市	7.42	真岡市	1.54	栃木市	5.15	那珂川町	2.02	那珂川町	3.58
小山市	7.71	小山市	1.54	那須塩原市	5.18	栃木市	2.11	日光市	3.60
那珂川町	7.80	那須烏山市	1.55	小山市	5.25	鹿沼市	2.12	那須塩原市	3.61
足利市	8.01	那珂川町	1.58	那珂川町	5.28	那須烏山市	2.13	栃木市	3.72
真岡市	8.13	日光市	1.60	大田原市	5.36	真岡市	2.18	芳賀町	4.07
塩谷町	8.16	茂木町	1.61	那須烏山市	5.37	那須塩原市	2.19	市貝町	4.11
宇都宮市	8.26	矢板市	1.64	壬生町	5.41	さくら市	2.35	野木町	4.14
野木町	8.72	野木町	1.66	日光市	5.45	足利市	2.45	矢板市	4.18
矢板市	8.81	那須町	1.82	塩谷町	5.45	大田原市	3.05	高根沢町	4.86
芳賀町	8.98	高根沢町	1.85	高根沢町	5.56	茂木町	3.10	茂木町	4.95
益子町	9.24	壬生町	1.88	真岡市	5.62	矢板市	3.17	鹿沼市	5.00
栃木市	9.25	塩谷町	1.91	芳賀町	5.68	野木町	4.49	真岡市	5.04
大田原市	9.42	鹿沼市	2.06	宇都宮市	5.80	小山市	4.98	壬生町	5.96
茂木町	9.58	宇都宮市	2.31	那須町	5.86	下野市	6.49	上三川町	6.25
那須烏山市	10.12	足利市	3.49	矢板市	5.99	芳賀町	9.28	宇都宮市	6.43

注 1) 乳がんは、指針方式によらずに受診した者を含む全ての受診者を対象

注 2) □：許容値を超えるもの

〈表 4-3〉平成 29(2017)年度市町別要精検率（個別検診）

（単位：％）

胃がん		肺がん		大腸がん		子宮頸がん		乳がん（全方式）	
栃木市	—	栃木市	—	栃木市	—	栃木市	—	さくら市	—
佐野市	—	鹿沼市	—	鹿沼市	—	小山市	—	上三川町	—
鹿沼市	—	小山市	—	小山市	—	真岡市	—	益子町	—
小山市	—	真岡市	—	真岡市	—	さくら市	—	茂木町	—
真岡市	—	大田原市	—	大田原市	—	下野市	—	市貝町	—
大田原市	—	矢板市	—	矢板市	—	益子町	—	壬生町	—
矢板市	—	那須塩原市	—	さくら市	—	茂木町	—	下野市	0.00
那須塩原市	—	さくら市	—	那須烏山市	—	市貝町	—	芳賀町	0.00
さくら市	—	那須烏山市	—	益子町	—	佐野市	0.00	塩谷町	0.00
那須烏山市	—	益子町	—	茂木町	—	那須烏山市	0.00	那珂川町	0.00
益子町	—	茂木町	—	市貝町	—	芳賀町	0.00	宇都宮市	0.55
茂木町	—	市貝町	—	壬生町	—	那珂川町	0.00	那須町	2.08
市貝町	—	芳賀町	—	塩谷町	—	高根沢町	0.35	野木町	2.16
壬生町	—	壬生町	—	高根沢町	—	塩谷町	0.51	小山市	3.69
塩谷町	—	野木町	—	那須町	—	那須塩原市	0.95	那須塩原市	3.84
高根沢町	—	塩谷町	—	那珂川町	—	那須町	1.02	足利市	4.00
那須町	—	高根沢町	—	芳賀町	0.00	矢板市	1.03	大田原市	4.52
那珂川町	—	那須町	—	足利市	6.18	壬生町	1.33	日光市	7.39
下野市	0.00	那珂川町	—	上三川町	6.48	宇都宮市	1.38	鹿沼市	9.09
芳賀町	0.00	日光市	0.32	那須塩原市	7.14	日光市	1.63	佐野市	10.60
宇都宮市	0.98	上三川町	1.86	佐野市	7.75	足利市	2.11	真岡市	11.54
上三川町	2.83	佐野市	2.54	下野市	8.46	大田原市	2.18	那須烏山市	16.39
日光市	14.01	宇都宮市	2.93	宇都宮市	8.94	上三川町	2.29	栃木市	17.02
野木町	27.78	下野市	4.01	日光市	12.88	鹿沼市	4.42	高根沢町	18.18
足利市	38.34	足利市	17.56	野木町	18.78	野木町	7.10	矢板市	50.00

注1) 乳がんは、指針方式によらずに受診した者を含む全ての受診者を対象

注2) —：当該年度の受診者がいないもの、□：許容値を超えるもの

4 平成28(2016)年度がん検診精検の受診状況について

〈表1〉平成28(2016)年度がん検診精検受診率

(単位：%)

		胃がん	肺がん	大腸がん	子宮頸がん	乳がん (全方式)
栃木県	平成27(2015)年度	79.8	82.1	69.9	80.5	89.1
	平成28(2016)年度	79.9	81.7	69.7	83.8	88.4
全国	平成27(2015)年度	80.4	83.1	68.8	74.3	87.2
	平成28(2016)年度	—	—	—	—	—
許容値		70以上	70以上	70以上	70以上	80以上
目標値		90以上	90以上	90以上	90以上	90以上

出典：全国「地域保健・健康増進事業報告」(厚生労働省)、許容値等「今後の我が国におけるがん検診評価の在り方について」(がん検診事業評価委員会報告書)

注1) 全国値は40歳から69歳まで(ただし、胃がん(平成28(2016)年度)は50歳から69歳まで、子宮頸がんは20歳から69歳まで)を対象

注2) 乳がんについて、栃木県は指針方式によらずに受診した者を含む全ての受診者を対象(全方式)、全国は指針方式で受診した者を対象

〈表2〉年齢階級別精検受診率

(単位：%)

	胃がん	肺がん	大腸がん	子宮頸がん	乳がん (全方式)
20-24歳	—	—	—	75.0	—
25-29歳	—	—	—	84.1	—
30-34歳	—	—	—	81.8	—
35-39歳	—	—	—	84.9	—
40-44歳	—	73.2	63.8	83.2	87.3
45-49歳	—	80.3	60.8	88.5	87.0
50-54歳	70.1	75.3	63.5	84.8	87.7
55-59歳	78.1	83.8	69.2	79.8	88.3
60-64歳	76.0	81.0	71.9	85.0	89.7
65-69歳	80.2	82.5	72.4	85.1	89.2
70-74歳	83.2	83.2	73.9	89.8	92.8
75-79歳	83.7	83.1	73.9	76.2	89.9
80歳以上	79.0	79.3	61.6	84.6	81.4

注1) 乳がんは、指針方式によらずに受診した者を含む全ての受診者を対象

注2) □：精検受診率が一番高い年齢階級

〈表 3-1〉平成 28(2016)年度市町別精検受診率

(単位：%)

胃がん		肺がん		大腸がん		子宮頸がん		乳がん(全方式)	
足利市	90.3	足利市	94.0	足利市	80.2	那須烏山市	100.0	那須烏山市	98.2
小山市	88.0	小山市	93.2	小山市	78.8	那須塩原市	93.9	真岡市	95.2
市貝町	88.0	真岡市	89.6	下野市	75.8	小山市	91.0	壬生町	93.2
鹿沼市	88.0	矢板市	87.3	鹿沼市	74.7	高根沢町	89.7	鹿沼市	92.7
下野市	85.8	鹿沼市	86.3	那須烏山市	73.1	下野市	89.6	小山市	92.2
高根沢町	83.8	下野市	86.0	栃木市	71.3	矢板市	88.2	市貝町	91.7
那須烏山市	83.3	栃木市	85.6	真岡市	70.5	さくら市	88.2	宇都宮市	91.6
矢板市	81.0	那須塩原市	85.4	茂木町	69.5	益子町	88.0	矢板市	90.6
宇都宮市	80.4	益子町	84.6	那珂川町	69.0	真岡市	87.7	足利市	89.5
日光市	79.8	市貝町	84.2	宇都宮市	68.7	茂木町	86.7	塩谷町	89.5
大田原市	79.7	那珂川町	83.9	矢板市	68.4	野木町	86.7	佐野市	88.9
上三川町	79.2	高根沢町	83.7	さくら市	68.3	上三川町	86.2	栃木市	88.2
真岡市	79.0	那須烏山市	82.7	高根沢町	68.2	鹿沼市	85.7	下野市	87.6
茂木町	78.9	野木町	82.6	益子町	67.9	市貝町	85.7	芳賀町	86.0
那珂川町	78.2	茂木町	82.5	大田原市	67.7	那珂川町	84.2	高根沢町	85.9
那須塩原市	77.9	日光市	82.1	市貝町	67.1	足利市	84.1	野木町	85.7
栃木市	77.4	壬生町	81.8	壬生町	66.7	芳賀町	82.8	益子町	85.2
壬生町	77.0	塩谷町	80.6	那須塩原市	66.6	栃木市	82.6	さくら市	82.8
佐野市	76.3	那須町	80.0	芳賀町	66.4	佐野市	79.7	大田原市	82.3
芳賀町	76.1	芳賀町	79.1	日光市	65.7	大田原市	79.2	上三川町	81.3
塩谷町	73.4	大田原市	78.9	塩谷町	65.6	宇都宮市	77.0	那須塩原市	81.3
那須町	71.3	宇都宮市	77.3	佐野市	65.6	壬生町	75.9	茂木町	80.6
さくら市	68.6	さくら市	74.3	那須町	64.1	塩谷町	71.4	日光市	79.4
益子町	65.3	上三川町	63.8	上三川町	63.6	那須町	66.7	那珂川町	78.9
野木町	61.4	佐野市	63.4	野木町	58.0	日光市	60.0	那須町	76.6

注1) 乳がんは、指針方式によらずに受診した者を含む全ての受診者を対象

注2) □：許容値に達しないもの

〈表 3-2〉平成 28(2016)年度市町別精検受診率（集団検診）

（単位：％）

胃がん		肺がん		大腸がん		子宮頸がん		乳がん（全方式）	
足利市	90.3	足利市	94.0	足利市	86.7	那須烏山市	100.0	那須烏山市	98.2
上三川町	89.7	小山市	93.2	小山市	78.8	佐野市	95.8	壬生町	93.2
小山市	88.0	真岡市	89.6	下野市	77.5	那須塩原市	95.5	鹿沼市	92.6
市貝町	88.0	矢板市	87.3	鹿沼市	74.7	壬生町	93.3	宇都宮市	91.7
鹿沼市	88.0	上三川町	86.4	那須烏山市	73.1	上三川町	92.0	市貝町	91.7
下野市	85.8	鹿沼市	86.3	宇都宮市	72.5	小山市	91.0	矢板市	90.6
高根沢町	83.8	栃木市	85.6	栃木市	71.3	塩谷町	90.0	真岡市	90.5
那須烏山市	83.3	那須塩原市	85.4	真岡市	70.5	下野市	89.6	野木町	90.5
宇都宮市	82.2	益子町	84.6	上三川町	70.5	宇都宮市	88.2	小山市	90.2
矢板市	81.0	市貝町	84.2	佐野市	69.8	益子町	88.0	塩谷町	89.5
大田原市	79.7	那珂川町	83.9	茂木町	69.5	真岡市	87.7	足利市	89.1
日光市	79.2	高根沢町	83.7	那珂川町	69.0	茂木町	86.7	佐野市	88.9
真岡市	79.0	那須烏山市	82.7	矢板市	68.4	高根沢町	86.4	栃木市	88.8
茂木町	78.9	野木町	82.6	さくら市	68.3	市貝町	85.7	下野市	87.6
那珂川町	78.2	茂木町	82.5	高根沢町	68.2	さくら市	85.0	日光市	87.3
那須塩原市	77.9	日光市	82.3	那須塩原市	68.1	那珂川町	84.2	芳賀町	86.0
栃木市	77.4	壬生町	81.8	益子町	67.9	鹿沼市	83.6	さくら市	85.5
壬生町	77.0	塩谷町	80.6	大田原市	67.7	芳賀町	82.8	高根沢町	85.3
佐野市	76.3	那須町	80.0	市貝町	67.1	栃木市	82.6	益子町	85.2
芳賀町	76.1	宇都宮市	79.1	芳賀町	66.7	野木町	81.8	那須塩原市	83.8
塩谷町	73.4	芳賀町	79.1	壬生町	66.7	大田原市	81.0	大田原市	83.1
野木町	71.3	大田原市	78.9	日光市	66.5	日光市	80.0	上三川町	81.3
那須町	71.3	下野市	75.3	塩谷町	65.6	矢板市	78.9	茂木町	80.6
さくら市	68.6	さくら市	74.3	那須町	64.1	足利市	77.8	那珂川町	78.9
益子町	65.3	佐野市	53.3	野木町	58.9	那須町	50.0	那須町	77.5

注 1) 乳がんは、指針方式によらずに受診した者を含む全ての受診者を対象

注 2) □：許容値に達しないもの

〈表 3-3〉平成 28(2016)年度市町別精検受診率（個別検診）

（単位：％）

胃がん		肺がん		大腸がん		子宮頸がん		乳がん（全方式）	
足利市	—	足利市	—	栃木市	—	栃木市	—	矢板市	—
栃木市	—	栃木市	—	鹿沼市	—	小山市	—	上三川町	—
佐野市	—	鹿沼市	—	小山市	—	真岡市	—	益子町	—
鹿沼市	—	小山市	—	真岡市	—	下野市	—	茂木町	—
小山市	—	真岡市	—	大田原市	—	益子町	—	市貝町	—
真岡市	—	大田原市	—	矢板市	—	茂木町	—	芳賀町	—
大田原市	—	矢板市	—	さくら市	—	市貝町	—	壬生町	—
矢板市	—	那須塩原市	—	那須烏山市	—	芳賀町	—	塩谷町	—
那須塩原市	—	さくら市	—	益子町	—	那珂川町	—	那珂川町	—
さくら市	—	那須烏山市	—	茂木町	—	矢板市	100.0	鹿沼市	100.0
那須烏山市	—	益子町	—	市貝町	—	さくら市	100.0	那須烏山市	100.0
下野市	—	茂木町	—	壬生町	—	那須烏山市	100.0	下野市	100.0
益子町	—	市貝町	—	塩谷町	—	野木町	100.0	高根沢町	100.0
茂木町	—	芳賀町	—	高根沢町	—	高根沢町	100.0	小山市	98.7
市貝町	—	壬生町	—	那須町	—	那須町	100.0	真岡市	96.1
芳賀町	—	野木町	—	那珂川町	—	鹿沼市	89.2	足利市	89.7
壬生町	—	塩谷町	—	足利市	78.4	那須塩原市	86.4	佐野市	88.9
塩谷町	—	高根沢町	—	下野市	74.6	足利市	85.6	宇都宮市	87.5
高根沢町	—	那須町	—	宇都宮市	66.5	宇都宮市	74.0	栃木市	78.9
那須町	—	那珂川町	—	佐野市	61.8	佐野市	71.1	那須町	71.4
那珂川町	—	下野市	90.6	日光市	59.4	壬生町	57.1	大田原市	66.7
日光市	81.4	宇都宮市	76.2	野木町	56.1	大田原市	55.6	那須塩原市	62.5
宇都宮市	68.5	佐野市	67.8	芳賀町	50.0	上三川町	50.0	野木町	57.1
上三川町	50.0	日光市	66.7	上三川町	49.2	塩谷町	25.0	日光市	21.7
野木町	15.0	上三川町	24.0	那須塩原市	37.5	日光市	10.0	さくら市	0.0

注 1) 乳がんは、指針方式によらずに受診した者を含む全ての受診者を対象

注 2) —：当該年度の要精検者がいないもの、□：許容値に達しないもの

5 平成28(2016)年度がん検診精検の結果について

〈表1〉平成28(2016)年度 がん発見率・早期がん割合・陽性反応適中度

(単位：%)

区分	胃がん		肺がん		大腸がん		子宮頸がん		乳がん (全方式)		
	H27 (2015)	H28 (2016)	H27 (2015)	H28 (2016)	H27 (2015)	H28 (2016)	H27 (2015)	H28 (2016)	H27 (2015)	H28 (2016)	
栃木県	がん発見率 (下段は許容値)	0.12	0.12	0.06	0.06	0.19	0.17	0.02	0.03	0.25	0.24
		0.11 以上		0.03 以上		0.13 以上		0.05 以上		0.23 以上	
	陽性反応適中度 (下段は許容値)	1.56	1.88	3.30	2.43	3.07	2.76	0.95	1.45	4.18	5.13
1.00 以上		1.30%以上		1.90 以上		4.00 以上		2.50 以上			
	早期がん割合 (子宮頸がんは微小浸潤がん割合)	59.82	64.81	37.63	38.89	53.57	54.20	44.44	26.92	60.09	72.04
全国	がん発見率	0.09	—	0.04	—	0.19	—	0.04	—	0.33	—
	陽性反応適中度	1.28	—	2.41	—	2.90	—	1.81	—	4.15	—

出典：全国「地域保健・健康増進事業報告」(厚生労働省)、許容値「今後の我が国におけるがん検診評価の在り方について」(がん検診事業評価委員会報告書)

注1) 全国値は40歳から69歳まで(ただし、胃がん(平成28(2016)年度)は50歳から69歳まで、子宮頸がんは20歳から69歳まで)を対象

注2) 乳がんについて、栃木県は指針方式によらずに受診した者を含む全ての受診者を対象(全方式)、全国は指針方式で受診した者を対象

〈表 2〉平成 28(2016)年度 検診機関別 要精検率・がん発見率・陽性反応適中度

検診機関	宇都宮健康 クリニック	宇都宮 東病院	宇都宮市 医療保健 事業団	栃木県保健 衛生事業団	医療機関 個別委託分	許容値
【胃がん】						
1 次検診受診者数	14,367	8,363	7,186	41,810	14,993	—
がんであった者	14	8	15	55	16	—
要精検率 (%)	4.24	2.93	7.68	9.78	1.54	11.00 以下
がん発見率 (%)	0.10	0.10	0.21	0.13	0.11	0.11 以上
陽性反応適中度 (%)	2.30	3.27	2.72	1.34	6.93	1.00 以上
【肺がん】						
1 次検診受診者数	23,512	14,380	16,321	73,163	35,230	—
がんであった者	13	7	9	53	24	—
要精検率 (%)	1.73	2.16	2.59	2.34	3.41	3.00 以下
がん発見率 (%)	0.06	0.05	0.06	0.07	0.07	0.03 以上
陽性反応適中度 (%)	3.19	2.26	2.13	3.10	2.00	1.30 以上
【大腸がん】						
1 次検診受診者数	24,120	15,187	16,156	75,215	37,458	—
がんであった者	27	11	28	115	102	—
要精検率 (%)	4.51	4.83	6.50	5.38	8.74	7.00 以下
がん発見率 (%)	0.11	0.07	0.17	0.15	0.27	0.13 以上
陽性反応適中度 (%)	2.48	1.50	2.67	2.84	3.12	1.90 以上
【子宮頸がん】						
1 次検診受診者数	9,657	7,059	6,777	39,094	29,493	—
がんであった者	0	4	4	7	11	—
要精検率 (%)	1.20	1.54	0.62	2.40	2.00	1.40 以下
がん発見率 (%)	0	0.06	0.06	0.02	0.04	0.05 以上
陽性反応適中度 (%)	0	3.67	9.52	0.75	1.87	4.00 以上
【乳がん】(全方式)						
1 次検診受診者数	13,455	9,985	6,270	43,388	14,377	—
がんであった者	25	19	23	106	38	—
要精検率 (%)	2.35	4.48	6.78	4.55	6.58	11.00 以下
がん発見率 (%)	0.19	0.19	0.37	0.24	0.26	0.23 以上
陽性反応適中度 (%)	7.91	4.25	5.41	5.36	4.02	2.50 以上

注) 乳がんは、指針方式によらずに受診した者を含む全ての受診者を対象